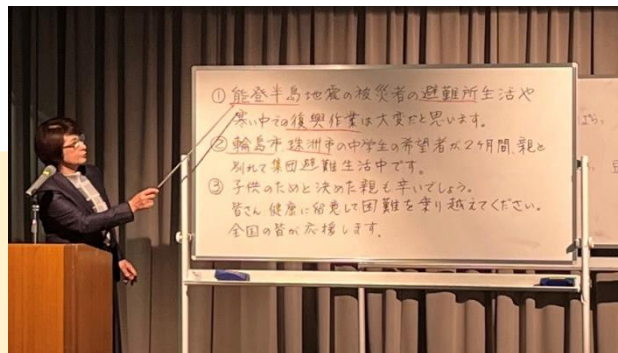


1月21日(日) 10:00~11:30 赤羽文化センター第1視聴覚室において、1月例会(五十嵐郁子講師指導の手話学習会)を開催しました。参加者は22名でした。

★今回の学習内容★

時事用語を含んだ文章の表現の他、漢字ゲームや手話ソングと盛り沢山の内容でした。



1. 短文の表現

- ① 能登半島地震の被災者の避難所生活や寒い中で復興作業は大変だと思います。
- ② 輪島市、珠洲市の中学生の希望者が2か月間、親と別れて集団避難生活中で
- ③ 子供の為と決めた親も辛いでしょう。皆さん、健康に留意して困難を乗り越えてください。全国の皆が応援します。

2. 仲間探し…雷(雨・田) 海(水・毎日) 像(人・象) 驚(敬・馬) 盗(次・皿) etc

【ルール】「雨」のカードを引いた人は、漢字を形成するもう一人の人を探せばOK! 雨かんむりの場合下(雫)・相(霜)・務(霧)のカードを持った人ともペアを組めます。今回は田の人とペアを組んで「雷」で成立。ただし、実際は漢字の組み立てのイメージがなかなかつかめなくて、皆さん右往左されていました。それも楽しかったですね。



3. 手話で歌いましょう「豆まき」

♪ 鬼は外～ 福は内～
ぱらっぱらっぱらっぱらっ 豆の音
鬼はこっそり逃げてゆく～～ ♪

元気よく歌いました。



コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：4年ぶりに、北区の小学校へ福祉教育の出張をしたんだって…

モア子：はい。1月23日に谷端小学校4年生のクラスで、「難聴とはどのような障がいなのか」を知ってもらうために、体験談やクイズ・ゲームを織り交ぜながら、子どもたちと触れあってきました。

